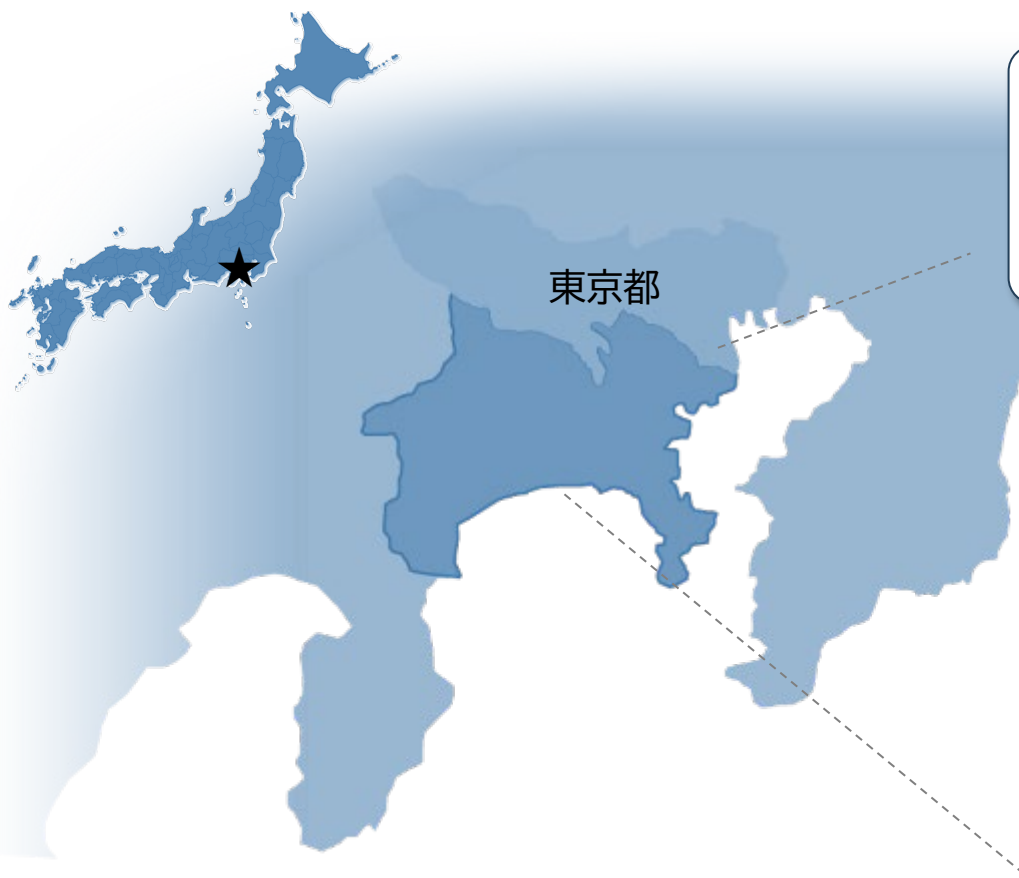


コーディネーターを起点とした 地域における日本語教育の進展について

神奈川県文化スポーツ観光局国際課
令和8年2月27日

神奈川県概要



東京都

人口：9,217,647人
構成：政令市と県域（＝5つの地域）
産業等：商業、農業、水産業、製造業、
観光業、研究（大学54校）等

● 県央地域



相模原市

川崎市

政令市

横浜市



● 湘南地域

● 県西地域



● 横須賀・三浦地域



神奈川県外国人の状況

外国人
人数

284,889人
(県民比率 3.1%)

国と
地域

179
(中国、ベトナム、韓国、フィリピン、ネパールなど)

在留
資格

永住者、技人国、家族滞在など
(特定技能が増加傾向)

その他

約240のボランティアによる日本語教室

神奈川県における地域日本語教育の目的

外国籍県民が身近な地域で生活者として
必要な日本語を学ぶことができる環境を整える



日本語による円滑なコミュニケーションを通じて、
外国籍県民等が安心して生活し活躍できる、
多様な文化を尊重した活力ある地域社会を実現する

これまでの主な取組

主な取組

市町村が主体的に日本語教育の取組を進められるよう、各種事業を実施

<市町村向け>

- 地域日本語教育コーディネーターの配置
- 市町村の取組を促すモデル事業の実施
(初心者向け日本語講座・ボランティア養成講座 など)
- 市町村補助金 (補助率：国 1 / 2、市町村 1 / 2)

R5～
外国人従業員向け講座

<支援者向け>

- 日本語学習支援に関する実践者向けの研修
- 地域日本語教育に関するフォーラム

現在の課題

課題1

県西地域を中心に、取組が進んでいない市町村がある

- ▶ マンパワー不足、財政的な問題、県事業への理解不足など
- ▶ 日本語教育を担う人材、日本語教室、支援団体、教育機関等の不在

課題2

様々な背景・ニーズを持つ外国籍県民への対応

- ▶ 地域日本語教育の趣旨を踏まえた、
多様な主体による切れ目のない、効果的な支援が必要

事業の体制

各市町村や地域の実情に応じた
コーディネートや支援を実施

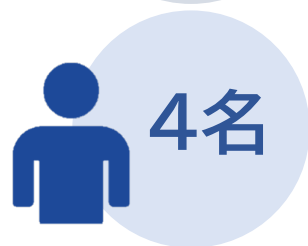


コーディネーターを配置



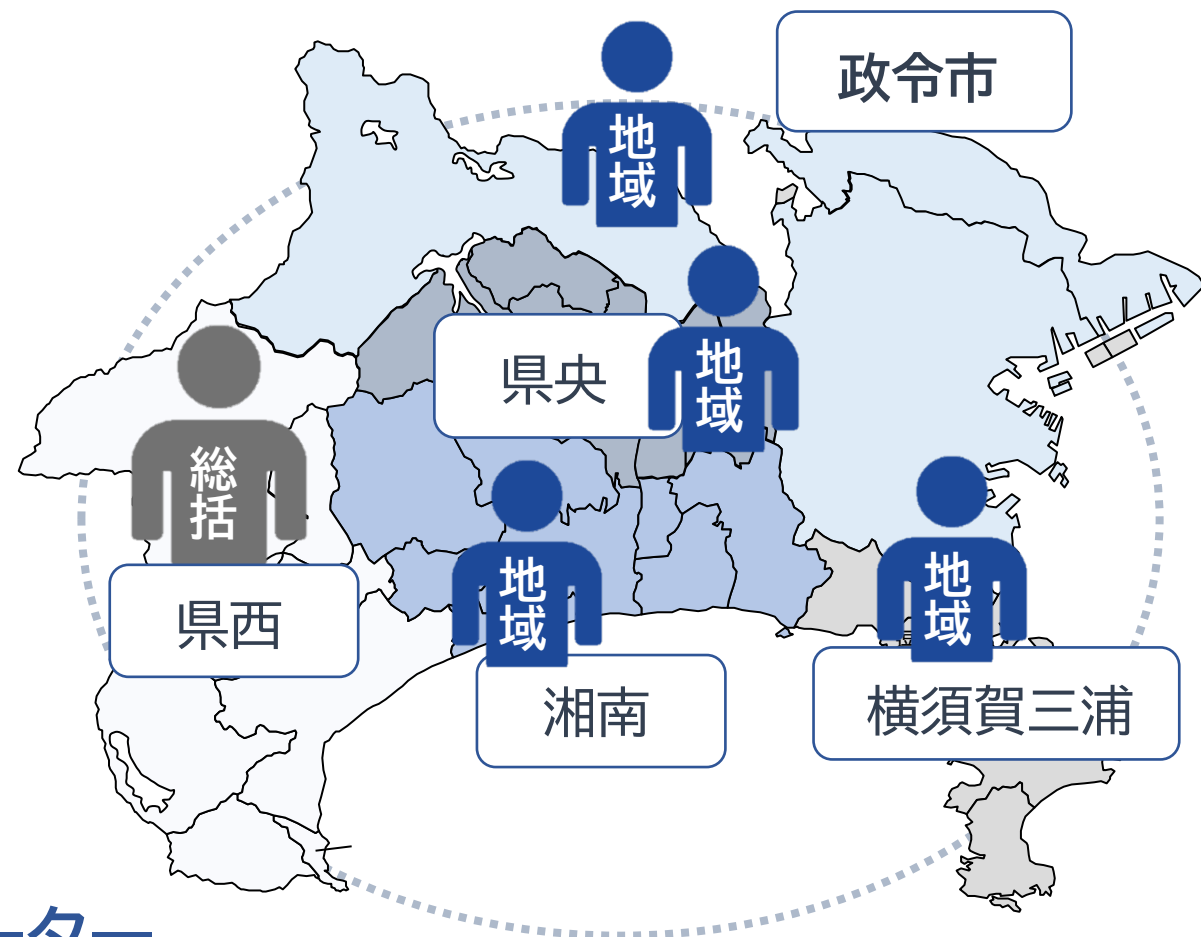
1名

総括コーディネーター



4名

地域日本語教育コーディネーター



コーディネーターの活動概要



- 互いの強みを活かし、日本語教育・多文化共生分野の知見を持ち寄って活動
- Teams で日常的に情報共有＋定例会議(月1回)

主な業務

- ① 市町村との連携
- ② 地域の関係者とのつながりづくり



A市

日本語教室の立ち上げから、 ボランティア養成講座の開催につながった事例

市との情報交換

近隣市町村在住日本語教師、外国人住民等との情報交換

A市在住 日本語ボランティアとの出会い

県・市・ボランティア・コーディネーター 4者で状況を共有する場を設定

市に日本語ボランティア養成講座の開催を提案

A市で日本語ボランティア養成講座開催へ

B市

日本語教師による日本語講座の開設をきっかけに、
市の日本語教育事業がより充実していった事例

市との情報交換

地域の日本語教室との情報交換

市に「日本語教師による日本語講座」開設意向を確認

市・ボランティア・コーディネーターとで日本語講座の目的等を共有、
ボランティアと連携しながら県のモデル事業として日本語講座を実施

研修の内容・企画会議にコーディネーターも同席し、連携して開設を模索

B市の自主事業化(日本語講座の開設)に向けて調整中

これまでの成果

定量的な成果

- 市町村等への支援により、日本語教育の機運が醸成され、市町村主体の取組につながった

■ 市町村の取組を促すモデル事業、市町村補助金の申請実績

	R3	R4	R5	R6	R7	R8(見込)
モデル事業	12	8	10	9	9	10
補助金	8	14	15	17	17	19

地域日本語教育の環境整備を着実に進めることができた

課題の解決を図ることができるよう
コーディネーターを起点とした支援の充実



外国籍県民が身近な地域で
生活者として必要な日本語を学び
安心して暮らしていける環境を整える